

---

**当院における HIF-PH 阻害薬 enarodustat(Ena)から roxadustat(Rox)への切り替えの経験**

---

医療法人衆和会 長崎腎病院 長崎腎クリニック 大村腎クリニック

○堀幸一郎 林田征俊 矢野利幸 高木伴幸 前川明洋 澤瀬健次 橋口純一郎 船越哲

**【背景】**

HIF-PH 阻害薬は、HIF 経路を活性化し EPO 産生と鉄の動員を増加させる経口腎性貧血治療薬である。今回、Ena で貧血改善効果不十分と思われた症例において Rox への切り替えを行い、観察を行った。

**【目的】**

Ena から Rox へ切り替え後の貧血改善効果を、縦断的に検討する。

**【対象・方法】**

当院の維持血液透析患者で、Ena 内服で適正な Hb 値が得られない 13 名(男 10 名、女 3 名、平均年齢 77.5 歳)を対象とし、Rox へ切り替えた。T-SAT $\geq$ 20%の症例に対し、内服開始から 4 週間は用量を一定とし、以降は Hb 値 10.0~12.0g/dl を目標に調整を行い、貧血改善効果や内服量を 16 週間観察した。

**【結果】**

Rox へ切り替え後 Hb 値は 4 週目まで上昇傾向であったが有意差は認められなかった。4 週目以降は、Hb 値は安定し、54%において HIF 内服量の減量が可能であった。

**【考察】**

今回の Ena から Rox への切り替えにおいて、Hb 値の維持と内服量の減量が可能であったことから、症例によっては HIF への反応性が異なるのかも知れない。